

1. 研究主題

生徒が主体的に学び、学びの成果を実感する授業づくり
 — ICTの効果的な活用方法 —

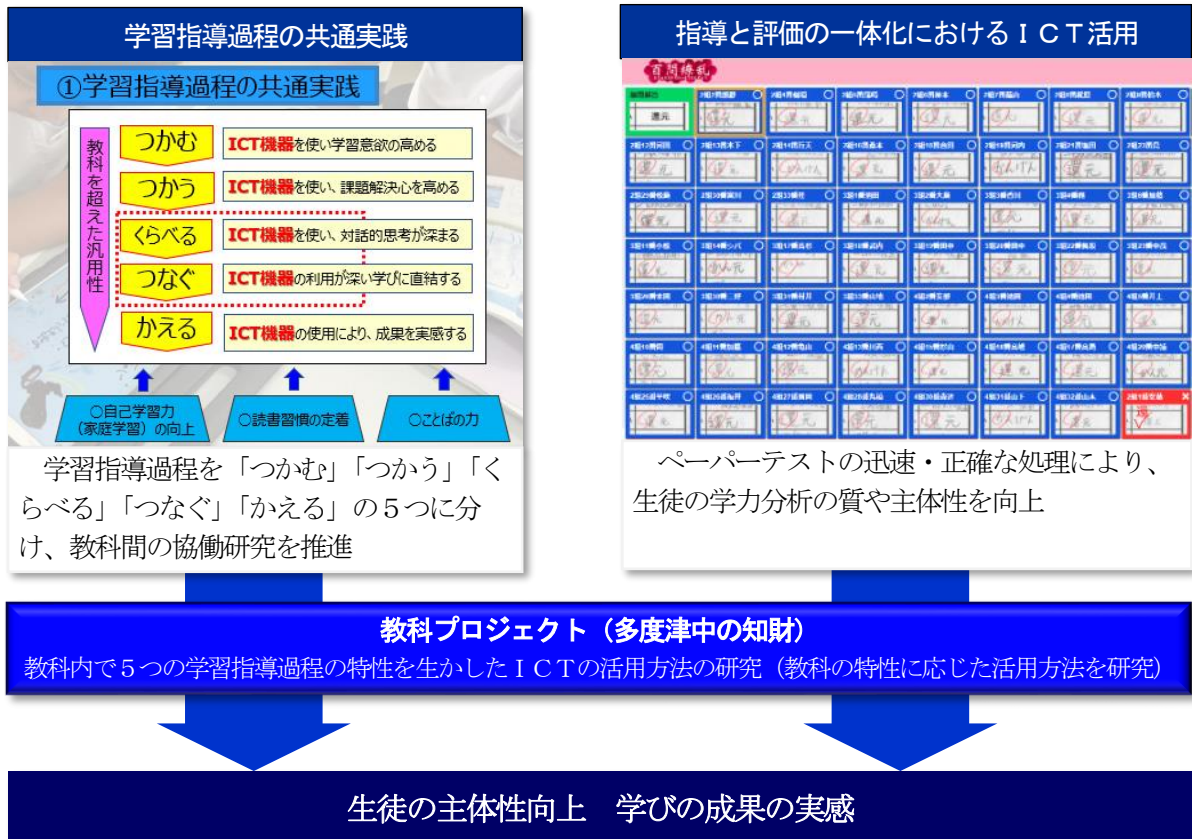
2. 主題設定の理由

本校では、平成 30 年度から研究主題として「生徒が主体的に学び、学びの成果を実感する授業づくり」を設定している。本校はここ数年、本研究主題のもと、地道に研究を継続し、成果をあげてきた。特に、教員間で協働し研究を進めるためのシステム作り及び生徒が学びの成果を実感するための具体的実践の共有化が行われてきた。ただ、教科性を乗り越えて、さらに教員間の協働研究を進めるためには、新たな仕掛けが必要であること及び育成すべき資質・能力の三つの柱を認識し、各教科を横断した形で新たに評価を見直すことが必要である。そこで、この本校の継続研究にICTの効果的な活用を取り入れることで、より深みのある研究を推進したいと考えた。加えて、継続研究の深化は、生徒の実態を正確に見取ることが大切だと捉え、ICTを利用した評価についても研究し、生徒の主体性及び学びの成果の実感をさらに高めたいと考え、本研究主題を設定している。

3. 研究の具体

(1) 研究内容

学習指導過程を5つに分け、教科が違う教員にも分かりやすいように汎用的な授業づくりを行う。具体的には、学習指導案に5つの学習指導過程を組み込み、法則化することで教科間の協働研究を推進すること、さらに、教科内で5つの学習指導過程を深めるためのICTの効果的な活用方法を研究することの両輪で研究を推進した。どんなに便利な道具が導入されたとしても授業づくりの本質は変わらない。ICTを授業内で扱う文房具として捉え、生徒の主体性や学びの成果の実感の向上のために活用方法を研究する。



(2) 研究の検証

研究の成果については、生徒及び教員に対するアンケートを実施したり、授業公開・実践を通して指導していただく場を設けたりして検証する。また、香川の教育づくりにおいて、実践事例を幅広く公開し、さまざまな視点からの意見を参考に次年度への改善につなげる。